

【海外事情 6月20日】

- グーグルがチャットアプリ TJ6月20日号 ページ9
- アマデウス、NDC 承認取得 TJ6月20日号 ページ9
- 東南アジアのウェブ販売 15%増 TJ6月20日号 ページ9
- 16年のオンライントレンド TJ6月20日号 ページ9

➤ シェアリング、2010年3倍増

ジュニパーリサーチの予測によれば、所謂シェアリング・エコノミー市場が20年までに200億ドル(約2.2兆円)に成長する。これは、15年の64億ドルの3倍。予測は、運輸・商品・サービス・音楽とビデオ・スペース・マネーの6つの中核エコノミーを基礎として、それから学習・自治都市(municipal)・ヘルス・食品まで幅広い分野がカバーされている。このうちライドシェアは20年に65億ドルとなる。エアビーは19年にライドシェア以上に成長するスペースレンタルに属している。この予測にはeBayやNetflixの販売額も含まれているものの、中期的にシェアリングが大きく成長するのは間違いなさそうだ。(TN 5/23 <https://goo.gl/nwncZr>)

➤ 仏当局、ブッキングに滞納税

仏税務当局が、ブッキング・コムに対して滞納税金プラス加算税の合計356百万ユーロ(約430億円)の支払いを命じた。これは、ブッキング・コムの米証券取引委員会への申告書類の中で明らかにされた。2003年~2012年までの期間の延滞所得税と付加価値税、重加算税の合計で、13年より2年間の税務監査の結果である。ブッキングは、きちんと納税義務を果たしているのに、仏税務当局に対して異議を申し立てると言っている。(TN 6/1 <https://goo.gl/QXgZB6>)

➤ カヤックの目的地旅行商品販売

メタサーチ(比較検索サイト)のカヤックが、目的地のツアーとアクティビティー販売を再開した。現時点では、バイアター(トリップアドバイザー子会社)とゲットヨアガイドの2社がコンテンツを提供している。カヤックは、一度ゲットヨアガイドと提携したが、利用者の増加につながらず関係を破棄していた。消費者のモバイルを中心とした予約ツール利用の大きな変化と、目的地における体験の事前購入の顕著な増加が、カヤックの目的地旅行商品販売への復帰を促した。(TN 5/31 <https://goo.gl/JcepsS>)

➤ ウーバー、サウジから35億ドル

サウジアラビアの公的投資ファンドが、ウーバーに35億ドル(約3,900億円)を投資した。こ

れは、現在の企業価値 635 億ドル(約 7 兆円)のウーバーにとって、最大の単一資金投資額となる。ファンドの社長がウーバーの取締役会のメンバーに名を連ねる。最近数週間で、配車アプリをめぐる幾つかの重要な発表が続いている。アップルが中国の Didi Chuxing(滴滴出行)に 10 億ドル、フォルクスワーゲンがイスラエルのゲットに 3 億ドルをそれぞれ出資した。

一方、ウーバー自身は、最近トヨタと投資を含む戦略的提携を締結した。大手テクノロジー企業、ソブリン・ウエルス・ファンド、自動車メーカーが、配車アプリに群がっている。、経営修士(MBA)のビジネススクールで「単純なビジネスモデルほど、比較的短期間で開発でき成熟させることができる」と教えているように、ウーバーのような移動手段がこの教育テーマの最もふさわしい例となるのだろう。しかしながら、誰もが口に出したがらない事業の「採算性」は依然として不透明だ。企業価値を高めて売り抜けるのではなくて、事業自身の採算性を追求することになるのだろうが、現時点ではその道のりは遠いものとなりそうだ。(TN 6/2 <https://goo.gl/RSeJRT>)

+++++ +++++ +++++